

飛騨古川 町並み景観 セミナー

町並みを未来につなぐ

3/3

2024

日

時間 10:00 - 11:30
会場 飛騨市役所
西庁舎 3F 大会議室

参加
無料

プログラム

飛騨古川の町並みを未来に繋げるために

講師 西村 幸夫 先生 國學院大學観光まちづくり学部長・東京大学名誉教授

飛騨古川における町並み景観に対する 「そば」の可視化

発表 堀川 夏実 さん 新潟大学工学部建築学プログラム都市計画研究室4年

令和5年度活動報告・令和6年度事業について まちづくり観光課・新潟大学



— 講師 —
西村 幸夫 先生



古川町式之町立面デザイン (新潟大学工学部建築学プログラム都市計画研究室4年 鈴木侖梓さん作成)

参加申込

下記申込書の内容をインターネット、FAX、電話のいずれかの方法でご連絡ください

電話申込 0577-73-7463

FAX申込 0577-73-6866

インターネット申込 (右QR)

<https://logoform.jp/f/uZDCO>



申込書

● 氏名

● 電話番号

● 古川の町並み景観について、今後研究会で「調べてほしいこと」を教えてください (任意回答)

● 古川の町並み景観について、今後セミナーで「学びたいこと」を教えてください (任意回答)

プロフィール

西村 幸夫（にしむらゆきお）先生

國學院大學観光まちづくり学部長、東京大学名誉教授、工学博士。1952年福岡県生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。東京大学大学院教授、東京大学副学長、東京大学先端科学技術研究センター所長などを歴任。2020年4月より現職。日本イコモス国内委員会前委員長、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）元副会長（世界文化遺産の評価等を行う）。専門は都市計画・都市保全計画・市民主体のまちづくり論など。



1986年に(財)日本ナショナルトラストが行った観光資源調査「飛騨古川の町並みまちづくり」には調査委員として、「飛騨古川タウントレイル」には古川まちづくり研究会の一員として携われ、以降、飛騨古川の町並みと題材とした研究や執筆は多数。古川の町並みを、そして古川に生きる人々を温かく見守ってこられ、町並み景観の保全に継続してご指導いただいている。

飛騨古川・町並み景観研究会

高齢化や人口減少、空家増加、生活スタイルの変化により、匠の技術を継承する大工の後継者不足や、まちづくりの担い手不足も進み、市民の景観意識の希薄化などの課題も生じています。

そこで令和4年5月、飛騨市は市民を交えた「飛騨古川・町並み景観研究会」を発足しました。

専門家を招いた講演会や、大学生との協働によるワークショップ、調査研究などを通じ、飛騨古川の町並み景観の歴史や考え方を学び、将来の町並み景観づくりについて考える取り組みを行っています。

皆様のご参加をお待ちしております。



町並み景観セミナー
（学び事業）



懐かしの町並み写真展
（景観保全活動）



新潟大学協力による町並み調査
（調査研究事業）